

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-1

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>



イベント



つくば医工連携フォーラム2016 －医工連携・橋渡しのつくばモデル－

【開催趣旨】

つくば医工連携フォーラムは「つくばバイオマテリアル・医工学研究会」「つくば医療産業懇談会」（当時）および「BioTsukuba研究交流会」を母体として2009年から毎年開催されています。

本フォーラムにて、つくば地域における、生体材料工学、バイオテクノロジー、医工学などに関連する研究開発や実用化を推進する方々が一同に会し、最先端の研究成果や実用化の方策等について議論するとともに、最新機器の展示を行う場として、多くの方にお集まり頂き、活発に討論いただきますよう、お願い申し上げます。

【日 時】 平成28年1月22日（金） 9時30分～18時00分
（懇親会・研究奨励賞表彰式 18時15分～20時00分）

【会 場】 産総研つくばセンター 共用講堂
（〒305-0046茨城県つくば市東1-1-1）

【参加費】 無料（懇親会費：一般 4,000円 学生 1,000円）

【プログラム概要】

- 9:30 開会
- 9:40～10:50 産総研講演『レギュラトリーサイエンスによる産業競争力強化』
「FGF-2担持デバイス開発におけるトランスレーショナルリサーチの早期導入」
産総研 健康工学研究部門 生体材料研究グループ 研究グループ長 伊藤 敦夫
「循環デバイス開発におけるin silico/vitro評価法の導入」
産総研 健康工学研究部門 人工臓器研究グループ 研究グループ長 丸山 修
「In silico 導入によるイノベティブな不整脈治療システムの創出とその効率化を
目指して」
滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター 学内講師 芦原 貴司 氏
- 10:55～11:55 口頭発表（医療機器・福祉機器、生体材料・再生医療・レギュラトリーサイエンス）
- 12:00～13:00 企業によるショートプレゼンテーション
- 13:05～13:55 特別招待講演『革新的医療機器研究開発・評価とレギュラトリーサイエンス』
医薬品医療機器総合機構（PMDA） 理事長 近藤 達也 氏
- 13:55～14:25 特別講演『有人火星探査の医学的リスクと医工連携の必要性』
宇宙航空研究開発機構（JAXA） 有人宇宙ミッション部門
宇宙飛行士運用技術ユニット 村井 正 氏
- 14:25～15:25 ポスター発表コアタイム
- 15:25～16:10 筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構 ワークショップ
『つくば臨床医学研究開発機構－英知の結集による医療シーズの育成・臨床開発と
研究者育成－』
座長 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 中央管理ユニット長 橋本 幸一 氏
「つくば臨床医学研究開発機構の取り組み」
筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 機構長 荒川 義弘 氏
「つくば地域の医療シーズの収集・管理マネジメントシステムの構築」
筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 研究開発マネジメント部
副部長 山本 信行 氏



2016年1月号
2016.1.15
NO.134-2

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

- 16:20～17:05 農業生物資源研究所 ワークショップ『機能性食品研究の現状』
座長 農業生物資源研究所 知的財産室 室長 桑名 芳彦 氏
「機能性表示農産物の開発」
農研機構 食品総合研究所・食品機能研究領域 上席研究員 小堀 真珠子 氏
- 17:05～17:50 物質・材料研究機構 ワークショップ『再生医療を支える材料技術』
座長 物質・材料研究機構 生体組織再生材料ユニット/生体機能材料ユニット
ユニット長 陳 国平 氏
「再生医療のための高分子足場材料の開発」
物質・材料研究機構 生体組織再生材料ユニット/生体機能材料ユニット
ユニット長 陳 国平 氏
「生体機能界面制御による革新的外科用接着剤の開発」
物質・材料研究機構 MANA-ナノライフ分野 生体機能材料ユニット
複合化生体材料グループ MANA研究者 田口 哲志 氏
「難治性骨疾患の原因遺伝子とその治療戦略」
物質・材料研究機構 中核機能部門 ナノテクノロジー融合ステーション
ステーション長 花方 信孝 氏
- 17:50～18:00 閉会の挨拶
18:15～20:00 懇親会・研究奨励賞表彰式

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

つくば医工連携フォーラム

検索

CLICK!!

<http://ikourenkei.forum.aist.go.jp/>



イベント



協創マッチングフォーラム

【開催趣旨】

『協創マッチングフォーラム』は、外部企業との連携により新商品・新事業・新分野進出をお考えの、中堅・大企業の方に、全国の支援機関が推薦する中小ベンチャー企業の独創的な技術を、広くご紹介する商談会形式のイベントです。

受発注取引だけでなく、共同開発、OEM提供、資本提携など提携による事業創出を目指しています。また、日常的に中小企業を支援しているコーディネータが面談に同席し、面談後のフォローアップやアドバイスを行っています。

【日 時】 平成28年2月4日(木) 10:00～17:00

【会 場】 かながわサイエンスパーク KSPホール
(〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1)

【参加費】 無料

【定 員】 200名

【お申込み】 オンライン登録

【プログラム概要】

9:30 会場
10:00～ 中小・ベンチャー企業プレゼンテーション
13:30～ 個別マッチング

<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-3

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

【問い合わせ先】〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1KSP西304
株式会社ケイエスピー インキュベート・投資事業部
E-mail: k-forum@ksp.or.jp
TEL: 044-819-2001 FAX: 044-819-2009

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

協創マッチングフォーラム

検索

CLICK!!

<http://www.ksp.co.jp/forum2015/>



イベント



産総研 中国センター シンポジウム －材料・化学研究が切り拓く産業競争力強化への道筋－

【開催趣旨】

産総研中国センターでは、今年度から研究組織を材料・化学領域の機能化学研究部門に再編し、従来から実施しているバイオマス利活用技術の研究開発に加えて、高機能な各種化学品創製技術発信の拠点として、素材産業、化学産業等への技術的貢献を目指しております。この度、産総研で実施している材料・化学研究に関して「橋渡し」が期待される研究シーズ等を広く紹介し、実用化に向けた連携に資する「産総研中国センターシンポジウム」を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



【日 時】 平成28年1月21日（木）
13時00分～17時30分（交流会 17時30分～19時00分）

【会 場】 ホテル広島ガーデンパレス2階鳳凰（〒732-0052広島県広島市東区光町1-15-21）

【参加費】 無料（交流会費：4,000円）

【定 員】 250名（申し込み順：定員になり次第、締め切らせていただきます）

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

AIST中国シンポジウム

検索

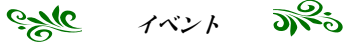
CLICK!!

<http://www.aist.go.jp/chugoku/ja/event/2015fy/0121.html>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-4

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>



イベント

第90回「高松5：30クラブ」

【開催趣旨】

地域を元気にする意欲に燃えた人が集まり、肩書き抜きで交流する場、普段なかなか知り合えないような人が一同に集まり、ネットワークの輪を広げる場として「高松5：30クラブ」を開催しています。皆様のお知り合いの方にも広くお声をかけて頂きご出席賜りたくご案内申し上げます。

【日 時】 平成28年1月27日(水) 17:30～

【会 場】 香川大学オーリーブスクエア2F多目的ホール（高松市幸町1-1）

【参加費】 1,000円

【事務局：7機関】

四国経済産業局、四国産業・技術振興センター、高松商工会議所、香川大学、四国経済連合会香川経済同友会、産業技術総合研究所四国センター

【問い合わせ先】 〒760-0033 高松市丸の内2-5
一般財団法人 四国産業・技術振興センター
E-mail: step@tri-step.or.jp
TEL: 087-851-7025 FAX: 087-851-7027

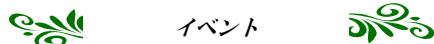
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

高松5：30クラブ

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>



イベント

第15回 産総研・産技連 LS-BT合同研究発表会

ビッグデータとビッグシミュレーションによる生命医科学の未来
～ビッグデータ時代の生命医科学を人工知能はどう改革できるか？～
(理研・産総研共同シンポジウム)

【開催趣旨】

産総研生命工学領域と産技連ライフサイエンス部会・バイオテクノロジー分科会の合同で、LS-BT合同研究発表会を開催致します。

本発表会は、産総研内外の研究者の相互交流、融合化を促進し新たなイノベーション発掘を目的に、産総研、公設試験研究機関等の研究成果を広く公開し、企業、大学関連団体等、外部への橋渡しを目指したオープンな研究発表会として開催してまいりました。

特に今年度は産業界で広く興味を示されている「ビッグデータ」「AI」といったキーワードに関する検討会“第2回理研・産総研共同シンポジウム”をメイン講演会とし、国内外のビッグデータ・ビッグシミュレーション関連の専門研究者が一同に会して、今後の研究動向や産業応用の可能性について徹底的な議論を行いますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。



<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-5

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

【日 時】 平成28年2月2日(火) 10:00～17:30
～2月3日(水) 9:00～12:00

【会 場】 産業技術総合研究所つくばセンター共用講堂 (〒305-0046 茨城県つくば市東1-1-1)

【参加費】 無料 (交流会費：2,000円)

【お申込み】 オンライン登録 (〆切り：1月29日(金))

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

LS-BT

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/lst/rp-lst/event/lst2/>



トピックス



産総研の最近の主な研究成果 (平成27年12月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2015/12/07>

半導体チップの偽造を防ぐ素子や回路を開発 — 「ICの指紋」を3倍以上の安定性で発生—

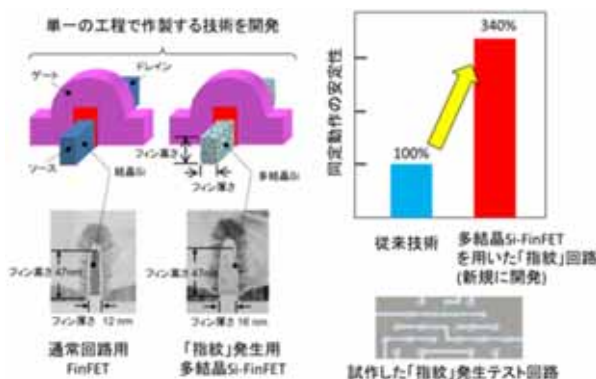
【ポイント】

- ・半導体ICチップの認証を行うための「指紋」を発生させる素子・回路技術を開発
- ・従来の類似技術に比べて3倍以上安定な認証機能を実現
- ・チップの偽造や、IoTにおける機器の成りすましを防止する技術として期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20151207/pr20151207.html

(ナノエレクトロニクス研究部門)



<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-6

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

<発表・掲載日：2015/12/10>

電圧書き込み方式不揮発性メモリの安定動作の実証と書き込みエラー率評価 —超低消費電力の電圧書き込み型磁気メモリ「電圧トルクMRAM」の実現に道筋—

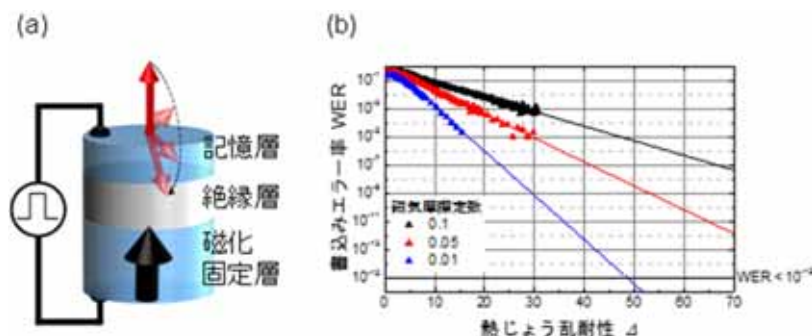
【ポイント】

- ・不揮発性メモリMRAMの新しい書き込み方式「電圧書き込み」の安定動作を実証
- ・実用上重要な書き込みエラー率の評価法を開発、実用化に必要なエラー率実現に道筋
- ・電圧書き込み型の不揮発性メモリによる情報機器の超低消費電力化の可能性

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20151210/pr20151210.html

(スピントロニクス研究センター)



<発表・掲載日：2015/12/11>

圧縮機を使わない高圧水素連続供給法を開発

—ギ酸を用いたコンパクトな水素ステーション構築に向けて—

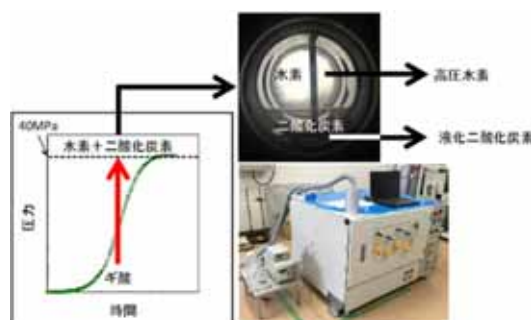
【ポイント】

- ・圧縮機を使わずに40 MPa以上の高圧水素を連続製造する技術を開発
- ・イリジウム錯体がギ酸から高圧水素への変換反応に優れた触媒性能を示した
- ・水素ステーションのコンパクト化と供給水素の低コスト化への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20151211/pr20151211.html

(化学プロセス研究部門、再生可能エネルギー研究センター)



<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-7

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

<発表・掲載日：2015/12/14>

磁気抵抗素子を用いたマイクロ波発振器の周波数を安定化 —スピントルク発振素子の実用化が大きく前進—

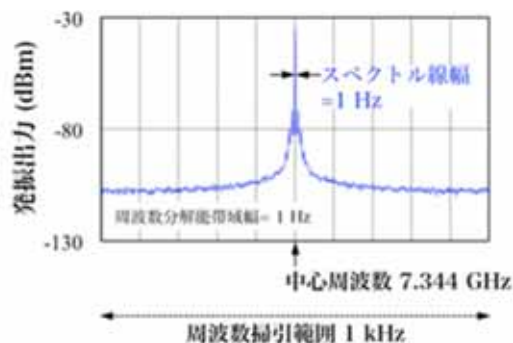
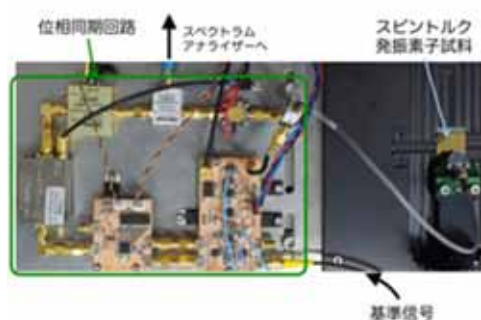
【ポイント】

- ・強磁性トンネル接合を用いたスピントルク発振素子に特化した位相同期回路を開発
- ・発振周波数の揺らぎを測定限界以下にまで低減
- ・超小型電圧制御型発振器としての実用化に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20151214/pr20151214.html

(スピントロニクス研究センター)



<発表・掲載日：2015/12/17>

不揮発磁気メモリー(STT-MRAM)の記憶安定性を2倍に向上 —大容量STT-MRAMの実用化開発を加速—

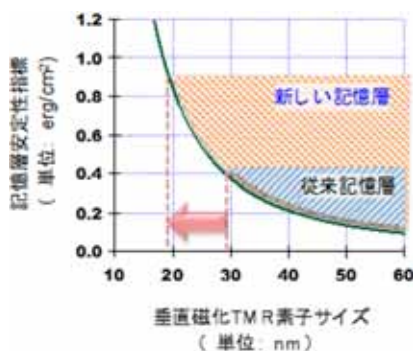
【ポイント】

- ・極薄コバルト層の開発により記憶安定性を2倍に向上
- ・記憶素子の低素子抵抗特性を併せ持つ垂直磁化トンネル接合を実現
- ・20ナノメートル以下世代の大容量STT-MRAM開発を加速

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20151217/pr20151217.html

(スピントロニクス研究センター)



<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-8

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

<発表・掲載日：2015/12/21>

生きた細胞内における外来DNA分解の可視化に成功

—細胞が外来遺伝子から体を守るしくみ—

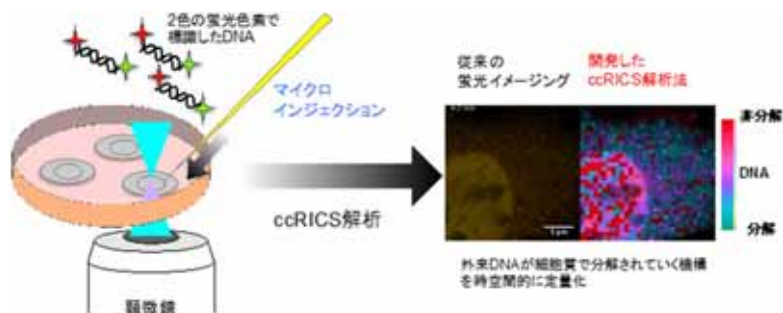
【ポイント】

- ・顕微鏡画像からDNAの分解を1分子レベルで時空間的に解析する技術を開発
- ・外来DNAを分解する活性が細胞の種類によって異なっていることを発見
- ・遺伝子治療・核酸医薬等の分子機序に基づいた創薬への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/new_research/nr20151221/nr20151221.html

(バイオメディカル研究部門)



他機関の情報

かがわ糖質バイオフォーラム 複合糖質・糖鎖研究会

(主催：かがわ糖質バイオフォーラムほか)

【開催趣旨】

複合糖質・糖鎖研究会では、多様な糖質・糖鎖が示す免疫調節作用に注目し、香川における健康・バイオ産業の活性化につながる製品群を創出・事業化の加速を図るとともに、そのために有用な産学官ネットワークの構築拡大を目指し、次のとおり「平成27年度かがわ糖質バイオフォーラム複合糖質・糖鎖研究会」を開催いたします。

【日時】 平成28年1月22日（金）13時30分～15時50分

【会場】 香川県立ミュージアム 研修室（地下1階）（〒760-0030高松市玉藻町5-5）

【参加費】 無料

【プログラム概要】

13:30 開会

13:40～ 第一部 基調講演

①「レクチンを用いた幹細胞評価技術の開発と再生医療への実用化」

産総研 創薬基盤研究部門 主任研究員 舘野 浩章

②「モデル植物シロイヌナズナを用いた植物免疫研究—MAPキナーゼ経路を切り口に」

香川大学農学部 准教授 市村 和也氏

<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-9

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

15:00～ 第二部 研究紹介

- ①「糖鎖アレイを使ったインフルエンザウイルスの検出法の開発」
香川大学総合生命科学研究センター 糖鎖解析研究部門 准教授 中北 慎一 氏
②「生体内異物に着目したホメオスタシス評価システムの開発と測定法の検討」
香川大学医学部 統合免疫システム学講座 博士研究員 小林 優多郎 氏

15:40～ 閉会挨拶

【問い合わせ先】 〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川バイオ研究室
香川大学医学部統合免疫システム学寄附講座
TEL/FAX : 087-813-9203

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

かがわ産業支援財団

検索

CLICK!!

<http://www.kagawa-isf.jp/>

他機関の情報

かがわ糖質バイオフィォーラム 第8回シンポジウム

(主催：かがわ糖質バイオフィォーラムほか 共催：産総研四国センターほか)

【開催趣旨】

このたび、かがわ糖質バイオフィォーラムでは、生活習慣病誘発のメカニズムの解明と、その予防を目指した基盤的研究を展開する愛知学院大学心身科学部健康栄養学科教授の大澤 俊彦氏と、希少糖含有異性化糖を使用し消費者ニーズの高い商品展開を進める、イオントップバリュ株式会社取締役MD戦略本部長の森 常之氏をお招きして、ご講演をいただきます。さらに、かがわ糖質バイオフィォーラムに参画する研究者や企業等による研究発表、商品開発の紹介を行います。

【日 時】 平成28年2月1日（月）13時00分～17時00分（交流会：17時30分～19時00分）

【会 場】 かがわ国際会議場（〒760-0019香川県高松市サンポート2-1高松シンボルタワー
タワー棟6・7階）（交流会：ホール棟5階 第2小ホール）

【参加費】 無料（交流会費：3,000円）

【プログラム概要】

1. シンポジウム 13:00～17:00（会場：かがわ国際会議場）

13:00 開会

13:25～14:25 特別講演「健康長寿と抗酸化食品」

愛知学院大学 心身科学部 健康栄養学科 教授 大澤 俊彦 氏

14:25～15:10 基調講演「ヘルス&ウェルネスのリーディングカンパニーへ」

イオントップバリュ株式会社 取締役 MD戦略本部長 森 常之 氏

15:30～16:10 研究発表

「『水兵リーパー僕の船』はもう古い？超分子のための周期表『イズモリング』」

香川大学 工学部 材料創造工学科 教授 石井 知彦 氏

「食品成分の網羅的析で見えてきた『おいしさと糖質関係』」

香川県産業技術センター 発酵食品研究所 主任研究員 大西 茂彦 氏

<次ページへ>

2016年1月号
2016.1.15
NO.134-10

AIST SHIKOKU NEWS

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>

<前ページから>

- 16:10～16:40 糖質バイオ関連商品開発事例紹介
「無水ヒドラジンによる糖鎖切り出しと蛍光標識試薬の製造販売」
増田化学工業株式会社 研究部 主幹 久保 勇樹 氏
「金陵レアシュガーブミム梅酒の開発」
西野金陵株式会社 多度津工場 醸造課長 酒井 史朗 氏
- 16:40～17:00 閉会挨拶

2. 交流会 17:30～19:00 (会場：第2小ホール)

【問い合わせ先】 〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川 1階
公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課 木村
E-mail : i-kimura@kagawa-isf.jp
TEL : 087-840-0338 FAX : 087-864-6303

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

かがわ産業支援財団

検索

CLICK!!

<http://www.kagawa-isf.jp/>